

第4期 決算公告

東京都墨田区錦糸一丁目2番1号
株式会社 global bridge HOLDINGS
代表取締役 貞松 成

貸借対照表

(2018年12月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
【流動資産】	615,997	【流動負債】	137,101
現金及び預金	45,674	1年内返済予定の長期借入金	77,260
前払費用	19,537	未払金	26,309
未収入金	33,192	未払法人税等	1,815
短期貸付金	543,674	賞与引当金	5,705
その他	7,919	その他	26,012
貸倒引当金	△ 34,000	【固定負債】	930,929
【固定資産】	1,316,605	長期借入金	908,190
(有形固定資産)	44,994	繰延税金負債	5,223
建物	25,961	退職給付引当金	550
車輛運搬具	2,880	その他	16,964
建設仮勘定	8,773	負債合計	1,068,031
その他	7,378	純資産の部	
(無形固定資産)	4,465	【株主資本】	819,416
その他	4,465	資本金	55,875
(投資その他の資産)	1,267,145	【資本剰余金】	1,073,022
関係会社株式	1,140,809	その他資本剰余金	1,073,022
長期貸付金	104,118	【利益剰余金】	△ 309,481
敷金差入保証金	22,204	(その他利益剰余金)	△ 309,481
その他	12	繰越利益剰余金	△ 309,481
【繰延資産】	334	【新株予約権】	45,490
株式交付費	334	純資産合計	864,906
資産合計	1,932,937	負債純資産合計	1,932,937

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

関係会社株式 移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産 定額法を採用しています。

②無形固定資産 定額法を採用しています。

(3) 繰延資産の処理方法

株式交付費 株式交付費は、支出時から3年にわたり定額法により償却しております。

(4) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

②賞与引当金

従業員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当期負担額を計上しております。

③退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

・退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

・数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により費用処理する方法を採用しております。

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理する方法を採用しております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 税抜方式によっています。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

該当事項はありません。

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 5,314 千円

(3) 保証債務

以下の関係会社の金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。

株式会社 global bridge 8,060 千円

(4) 関係会社に対する金銭債権、債務

①短期金銭債権 570,455 千円

②長期金銭債権 104,118 千円

③短期金銭債務 ー千円

④長期金銭債務 ー千円

3. 税効果会計に関する注記

繰延税金負債の主な発生の原因は、資産除去債務であります。

4. リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか、事務機器等の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

5. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たりの純資産額 367 円 40 銭

(2) 1株当たりの当期純損失 △142 円 00 銭

6. 当期純損益金額 当期純損失 △313,624 千円

